

ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド – 予想分配金提示型 –

足元の投資環境と今後の見通し

2020年2月7日

平素は当ファンドをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

足元の運用状況などについてお知らせいたします。

お伝えしたいポイント

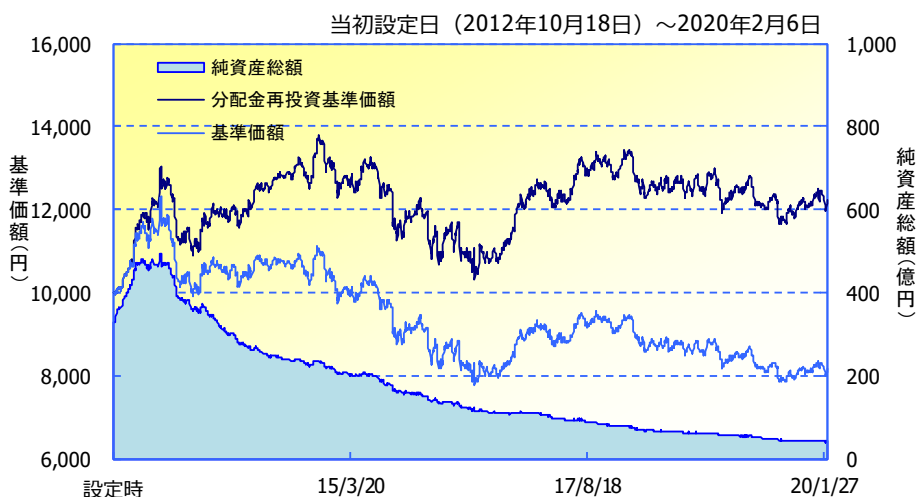
- ・ 山火事の実体経済への影響は短期的にとどまる見通し
- ・ 金融緩和サイクルが終盤にあることが豪ドル円を下支え
- ・ ポートフォリオの大幅な変更はなく、投資方針を維持
- ・ 当ファンドのパフォーマンスは、金利上昇局面においても安定的な推移に

基準価額・純資産・分配の推移（1万口当たり、税引前）

2020年2月6日現在

基準価額	8,157 円
純資産総額	40億円

《分配の推移》 (1万口当たり、税引前)		
決算期(年/月)	分配金	
第1～75期	合計 :	3,890円
第76期 (19/02)		20円
第77期 (19/03)		20円
第78期 (19/04)		20円
第79期 (19/05)		20円
第80期 (19/06)		20円
第81期 (19/07)		20円
第82期 (19/08)		10円
第83期 (19/09)		10円
第84期 (19/10)		10円
第85期 (19/11)		10円
第86期 (19/12)		10円
第87期 (20/01)		10円
分配金合計額	設定来 : 4,070円 直近12期 : 180円	



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。
 ※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合があります。
 ※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

【山火事の実体経済への影響】

実体経済への影響は短期的にとどまる見通し

昨年後半より、オーストラリア南東部で大規模な山火事が発生し、現在もなお一部の地域で被害が続いています。山火事によるオーストラリア経済への影響は避けられないものの、保険金の支払いや政府のインフラ（社会基盤）支出が本格化することにより、2020年後半の経済活動は押し上げられるとみています。

【為替相場の見通し】

金融緩和サイクルが終盤にあることが豪ドル円を下支え

RBA（オーストラリア準備銀行）は、2月4日（現地）、政策金利を0.75%で据え置くことを発表しました。市場では山火事や新型コロナウイルスによる影響が懸念されている一方で、RBAは成長率見通しについて強気な姿勢を示しました。

為替相場については、金融政策の緩和サイクルが終わりに近づきつつあることや、米中通商協議が第一段階正式合意に達し、世界的な不確実性が減少しつつあることなどが、豪ドル円相場の下支えになると考えます。オーストラリアの経済成長に短期的な低下リスクはあるものの、豪ドル円は2020年を通して上昇基調で推移するとみており、一時的な下落局面は、良好な投資機会と考えます。

オーストラリアの政策金利と豪ドル円為替相場



【投資方針】

ポートフォリオの大幅な変更はなく、投資方針を維持

当ファンドに対する山火事や新型コロナウイルスの影響は、限定的で一時的なものになると予想しています。これまでのところ、オーストラリアのクレジットを幅広く売却することや、最も大きな影響を受けた観光関連銘柄などが属する一般消費財・サービスや資本財などの業種についてエクスポージャーを縮小することなどはせず、今後についてもファンドの投資方針を維持してまいります。

業種別構成比率

(2019年8月末時点)

業 種	比率
金融 - 銀行	27.9%
金融 - 保険	14.8%
資本財	12.9%
金融 - 各種金融	12.0%
不動産	9.7%
一般消費財・サービス	6.9%
素材	4.4%
情報技術	4.2%
ヘルスケア	3.8%
公益事業	3.5%
合計	100.0%

(2020年1月末時点)

業 種	比率
金融 - 銀行	24.4%
資本財	18.7%
金融 - 保険	13.5%
金融 - 各種金融	13.2%
不動産	6.7%
一般消費財・サービス	6.3%
素材	5.1%
情報技術	4.7%
ヘルスケア	4.2%
生活必需品	2.8%
公益事業	0.5%
合計	100.0%

(出所) ヤラ・ファンズ・マネジメント・リミテッド

※比率の合計が四捨五入の関係で100%にならないことがあります。
 ※業種名は、ヤラ・ファンズ・マネジメント・リミテッドの分類に基づくものです。

【当ファンドの証券ポートフォリオの魅力】

当ファンドのパフォーマンスは、金利上昇局面においても安定的な推移に

当ファンドは、ハイブリッド証券と普通社債に概ね均等に投資することを基本的なスタンスとしており、幅広い銘柄に分散投資をしています。また、ハイブリッド証券だけに投資した場合に比べ、普通社債にも投資することにより、ファンド全体のボラティリティを抑制することをめざしています。

オーストラリアの10年国債金利は長年にわたり低下しており、昨年は最低水準を記録しました。今後、オーストラリア経済の底堅さが注目され、金利が上昇した場合、固定金利の証券価格は一時的に値下がりすることが想定されます。当ファンドにおいては、変動金利の証券におよそ8割を投資しており、金利変動の影響を受けにくいことから、金利上昇局面においてもパフォーマンスは安定して推移するとみています。

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

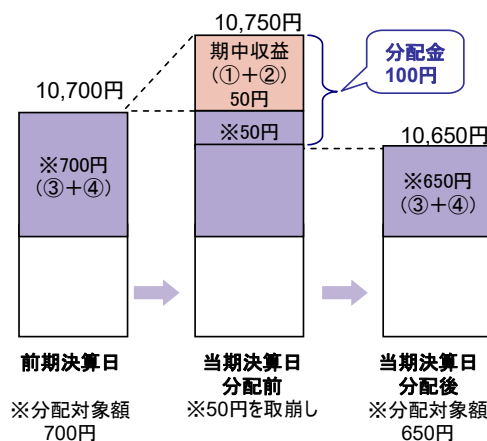
投資信託の純資産

分配金

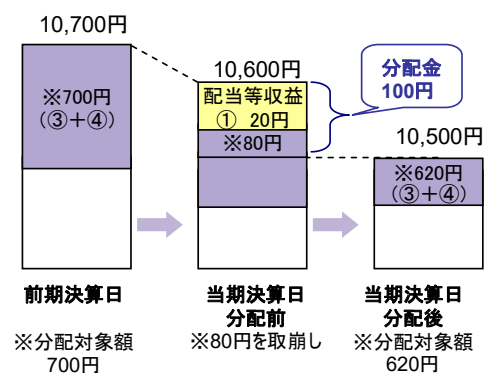
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



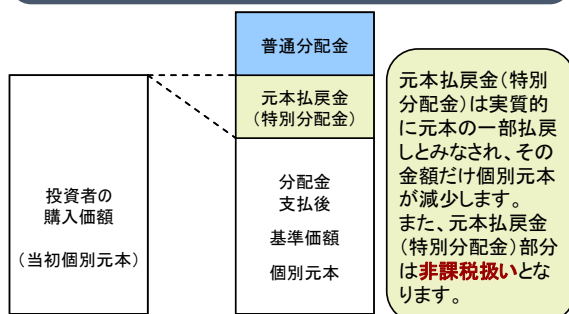
前期決算日から基準価額が下落した場合



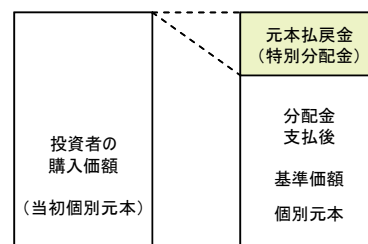
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

I ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 豪ドル建てのハイブリッド証券および普通社債等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 豪ドル建てのハイブリッド証券および普通社債等に投資し、高利回りの獲得をめざします。
 ハイブリッド証券とは
 ◆ ハイブリッド証券とは、債券と株式の性質を併せ持つ（ハイブリッド）証券です。
 ◆ 一般に国債や社債と比較して、信用リスクやハイブリッド証券固有のリスクにより、利回りが高いという特徴があります。
 ● ハイブリッド証券および普通社債の運用は、ヤラ・ファンズ・マネジメント・リミテッドが行ないます。
2. 毎月 17 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、基準価額に応じた分配金の支払いをめざします。
 ＊ 基準価額は 1 万口当たりとし、既払分配金を加算しません。
 ● 計算期末の前営業日の基準価額に応じ、下記の金額の分配をめざします。
 計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、下記の分配を行なわないことがあります。

計算期末の前営業日の基準価額	分配金額
10,500円未満	利子・配当収入相当分(経費控除後) ^(注)
10,500円以上11,000円未満	100円
11,000円以上11,500円未満	150円
11,500円以上12,000円未満	200円
12,000円以上12,500円未満	250円
12,500円以上	300円

(注) 外国投資信託のポートフォリオにおける利子・配当収入相当分から、投資者が実質的に負担する運用管理費用を控除した額をいいます。

※基準価額に応じて、毎月の分配金額が変動します。基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。
 ※分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

※ファンドの基準価額は変動します。投資元本、利回りが保証されているものではありません。

3. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
 ・外国投資信託の受益証券を通じて、豪ドル建てのハイブリッド証券および普通社債等に投資します。
 ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（公社債の価格変動、ハイブリッド証券の価格変動）」、「為替変動リスク」、「コントリブ・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※ハイブリッド証券固有のリスクとして、以下のようなものがあげられます。

〔劣後リスク（法的弁済順位が劣後するリスク）〕

〔繰上償還延期リスク〕

〔利払繰延リスク〕

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ハイブリッド証券に関する規制や基準の変更等がハイブリッド証券市場に大きな影響を及ぼす可能性があります。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉3.3%（税抜3.0%）	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用（信託報酬）	年率 1.188% （税抜 1.08%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする投資信託証券	年率 0.72%程度 ※この他に「ダイワ・プレミアム・トラスト・ダイワ・オーストラリア・ハイインカム・セキュリティーズ・ファンド」に対して、固定報酬として年額 13,500 米ドルがかかります。	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する運用管理費用	年率 1.908%（税込）程度（純資産総額によっては上回る場合があります。）	
その他の費用・手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンドー予想分配金提示型ー 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○		
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。